

# 12月議会 平山光子代表質問報告

## 一 市長の政治姿勢について

### 1 特定秘密保護法案と市政運営

肝心な部分は曖昧なまま大多数の国民の声を無視し強行採決された特定秘密保護法は、この国を危うくし自治体にも影響が及び懸念を指摘し市長の見解を質問

**質問** 十分な議論がないまま特定秘密保護法が可決された。自治体や職員への影響も懸念され首長として反対すべき。見解は。  
**答弁** 国の安全保障上必要。影響は限られているが、知る権利の仕組みは求められる。  
**要望** 全国市長会等で反対の意思表示を



## 2 消費税増税と次年度予算

消費税増税によって更なる地方の疲弊を招くことを懸念。次年度予算は厳しい市民生活や社会保障充実に配慮した予算編成が必要と要望

**質問** 景気が回復しているとして消費税増税が行われることになったが地方の実感とかけ離れている。市長の見解は？  
**答弁** ささまざまな数値には回復傾向が現れている。地方にも及んでくることを期待している。  
**質問** 市の多くの使用料・手数料にも増税分が反映されるが、市民生活に配慮し見送ることも検討できたのではないか。  
**答弁** 様々な市の財政等に影響する。  
**要望** 法改正の趣旨を受け、厳しい市民生活と、社会保障の充実に配慮して次年度予算の策定をしていくことを要望

## 四 求められる学力と教育行政の役割について

21世紀、地球規模の多くの困難な中を生きていく子ども達は、本物の知恵と判断力・実践力、人間関係力など次代を生き抜く力を身に付けていかなければならない。競争と序列化の偏差値教育は国連子ども権利委員会の指摘・勧告にもあるように子どもたちの成長を歪めている。全国学力テストの公表はすべきでないとして教育委員会の慎重な対応を要望

### 1 次代を生きる力

### 2 競争教育と全国学力テスト結果の公表

**質問** 国では学力テストの指針が見直され、市町村の判断で学校別結果の公表ができることになったが競争や序列に繋がる。公表すべきではないと考えるが市教委の見解は。  
**答弁** 教育上の配慮に十分留意し、慎重に検討していく。

## 五 下水道事業について

将来を見据えて研究・検討し、分かりやすい丁寧な説明、市民の声を反映した計画のもとで事業を進めるよう要望。また、他市と比べて高い受益者負担金の市民への丁寧な説明や上限額の検討と、下水汚泥の有効活用など循環型システムへの研究・検討も要望

- 1 生活排水対策の将来展望
- 2 受益者負担金
- 3 下水汚泥によるバイオマス発電の検討

## 二 新電力（PPS）について

一般電気事業者（九州電力等の電力会社）以外の新電力（PPS 特定規模電気事業者）の利用が進んでいる。本市は2013年10月より教育施設等43施設で導入、782万円の経費削減予定。経費削減とさらなる規制緩和に繋がることになり積極的推進を要望

## 三 不登校・ひきこもりの支援について

不登校の現状は深刻。ひきこもりについては全国では約70万人、本市の現状について把握もされていない。さらなる支援や支援の仕組みを充実しなければ将来の生活弱者を増やすことになる。支援充実に要望

### 1 不登校の現状と支援

**質問** 本市の不登校は昨年度小中学生合わせて197人と大変深刻。当局の見解と支援の状況は。  
**答弁** 全国平均と比べて出現率が高い状況で大きな課題。重点事業に掲げ取り組みを推進している。  
**要望** 天童市の取り組み事例等を参考に、更なる支援の充実に。

### 2 ひきこもりの実態と支援のしくみ

**質問** 本市では現状把握は行われているか。  
**答弁** 行ってはいるがかなりの数だと推測。市として第1次相談窓口設置し、訪問支援や当事者の居場所、家族支援など充実に。  
**要望** うきは市では相談支援事業を行い成果を上げている。本市でも体制整備を。



## 不登校・ひきこもり支援に先進的に取り組むうきは市 11月25日 会派で視察

### 「不登校・ひきこもり対策相談事業」

2010（H22）年から実施

住民の悩みの声を受け止めた福祉課が、緊急雇用創出事業で社会福祉士を雇用し、事業を社協に委託し始められたということです。

3年目の昨年の実績では、不登校者の約7割が、復帰・進学・就職、ひきこもり者の約3割が進学・就職につながっています。

### 主な支援 ~ 継続した取り組みで成果 ~

電話・来所相談： 平日8:30～17:15  
当事者フリースペース開設： 平日13:00～16:15

家族会開催： 毎月第3水曜日19:00～21:00

その他  
啓発のための通年セミナー  
様々な機関とのネットワークづくり  
中間就労の場（コココンネ）準備

頑張っている相談支援員の権藤さんから、「まずは訪問活動（アウトリーチ）が大切、ネットでも相談を受ける、簡単には解決しないことが多いので支援者が一緒に歩いていく姿勢、伴走型の支援に心がけている、本人や家族の自助努力で抜け出すのは難しい」等のお話を伺いました。

毎週会議で意見交換するなど教育委員会や他機関とも連携がしっかり図られています。



### ご相談下さい

- ・不登校 ・ひきこもり
  - ・発達支援 ・子育ての悩み
  - ・くらし全般 その他何でも
- お話を聞いて専門機関につなぎます。  
平山携帯 090-9077-0226

### 出前講座に伺います

- どこにでも、何人からでも！
- ・議会報告 市政報告
  - ・教育問題 ~不登校、全国学力テスト~
  - ・原発問題 ~今、福島では・・・~
  - ・おおむた男女共同参画プラン など